

2016年12月議会 追加提案議案に対する質疑（要旨）

2016/12/8

まつざき 真琴

私は、日本共産党県議団として、追加提案されました議案第109号「平成28年度鹿児島県一般会計補正予算（第4号）」について、質疑を行います。

今回の補正予算の追加提案分は、出水市における高病原性鳥インフルエンザの防疫対策に要する経費であります。

質問の第1は、本県における高病原性鳥インフルエンザの発生について、直近の状況をお示してください。

第2に、今回の補正予算の用途について、具体的にお示してください。

第3に、今回の補正予算は、防疫対策として、監視区域内や関連施設などにおける石灰消毒に要する経費であります。この石灰消毒の効果について、お示してください。

第4に、今回の補正予算の事業の対象は、大規模な養鶏農家や関連施設となっています。これ以外の、庭先などで100羽未満の鶏を飼っている個人へは、どのような防疫のための対応がなされているのか、お示してください。

最後に、今回の補正予算は、野鳥への高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されてからの対策であります。県において、平時に、年間を通して、どのような防疫対策が実施されているのかお示してください。

以上、質疑といたします。

【再質問】

野鳥から家きんへの感染を防ぐために、大変ご苦労、ご努力されていることがよくわかりました。

今回の補正予算の活用が十分な効果を発揮することを願うのはもちろんですが、補正予算の対象となっていない、養鶏を業としない、庭先で鶏などをかかっておられる個人の方たちに危機感を感じてもらい、指導された防疫を徹底するには、より細かな手間や時間が必要かと思えます。直接対応されている出水市と十分に協議をされて、今後、必要であれば対象を広げて、予算を執行していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

【まとめ】

家きんへの感染を防ぐため、引き続き、必要なこと、できることは、全部やっていただくことを要望し終わります。